

お知らせ

令和4年7月20日

〔資料提供先〕福山市政記者クラブ

子供たちの参加による芦田川での水生生物調査 ～水生生物による水質の簡易調査を実施します～

水生生物調査状況（山手橋）



水生生物調査状況（山手橋）



※写真は平成28年度調査

国土交通省福山河川国道事務所では、芦田川水系において「水生生物による水質の簡易調査」を昭和59年から毎年実施しています。子供たちの参加を得て調査を行うことにより、川に親しんでもらい、河川愛護、水質などへの関心を高めていただくこととしており、盈進中学高等学校の学生にも参加していただきます。子供たちの参加は3年ぶりになります。

○実施予定：令和4年7月27日（水）9時開始

※小雨決行（大雨、気象警報等の場合は中止）

○実施位置：山手橋（詳細は別紙図のとおり）

〈お問い合わせ先〉

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

【河川担当】	副 所 長	かしはら よしひこ 柏原 良彦
	調査設計第一課長	たけくに しゅんいち 竹國 俊一
	専 門 調 査 官	まえた なおき 前田 直樹

TEL (084) 923-2628（ダイヤルイン）

○福山河川国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

令和4年度 芦田川水生生物調査 実施概要

1. 調査目的

水生生物調査は川底に生息する水生生物を指標としてその分布状況を調査し、河川の水質状況を概観するものである。また、中・高校生等多くの方々の参加を得て調査することにより川に親しんでもらい、河川愛護、水質浄化等への関心を高めてもらうことを目的とするもので、昭和59年から毎年実施しています。

2. 調査時期

令和4年7月27日（水）（学校法人盈進中学高等学校）、8月下旬

※小雨決行（大雨、気象警報等の場合は中止）

3. 調査地点

国土交通省福山河川国道事務所で水質観測を行っている箇所を基に、下記の地点で行います。

芦田川水生生物調査箇所一覧表

No	水系名	河川名	調査実施地点名	所在地	調査日時（予定）
1	芦田川	芦田川	山手橋	福山市山手地先	7月27日（水）
2	芦田川	高屋川	白鷺橋	福山市神辺町川南地先	8月下旬
3	芦田川	芦田川	府中新橋	府中土生町地先	8月下旬
4	芦田川	芦田川	大井手頭首工	府中久佐町地先	8月下旬

※別紙位置図参照

4. 水質の指標生物について

別紙の指標となる水生生物の数を調べ、簡易的に水質判定をおこなう調査

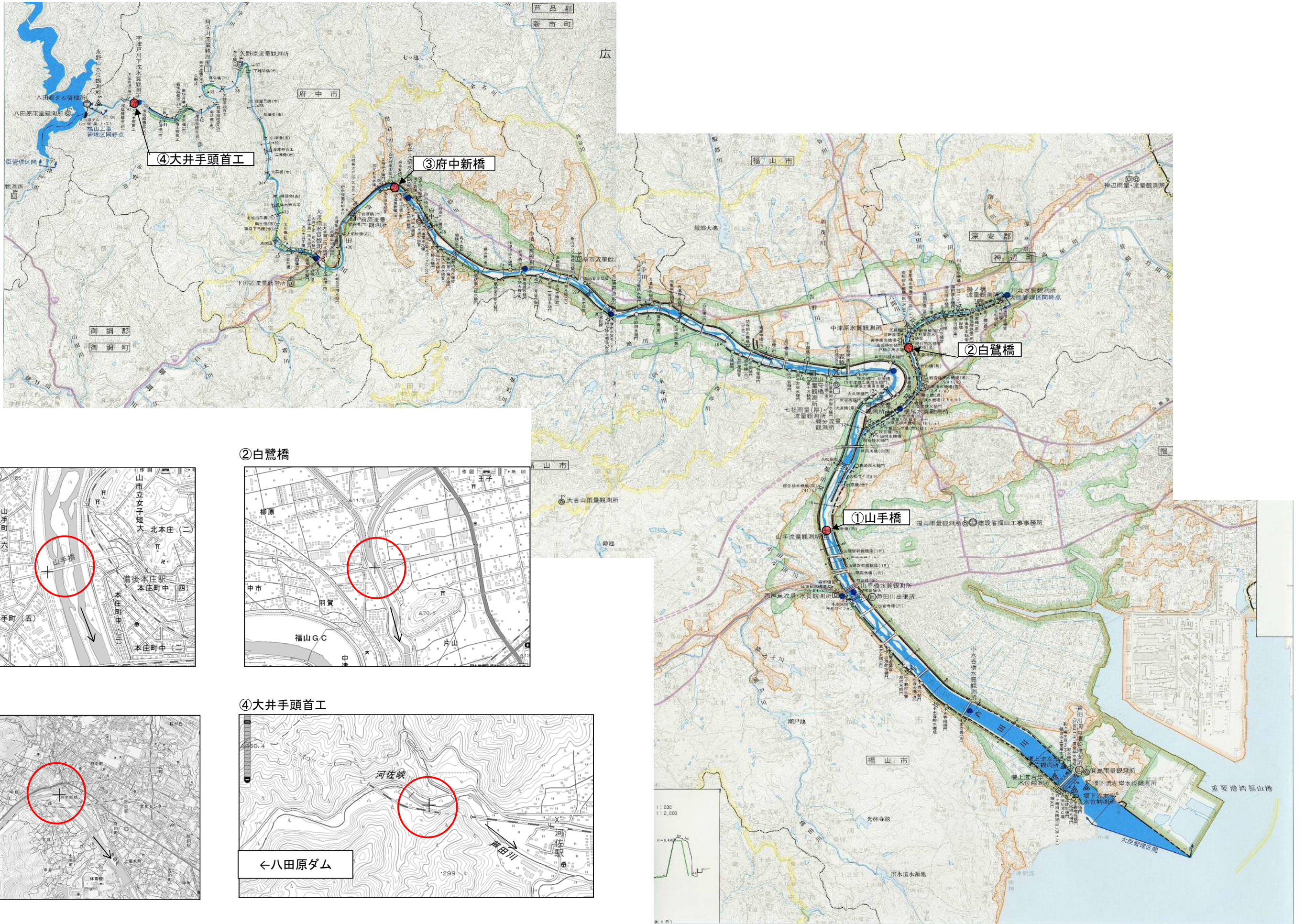
5. 令和3年度調査結果（参考）

芦田川水系では令和3年度には4箇所中2箇所が「Ⅰ：きれいな水」と判定されました。

河川名	水質階級 地点名	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	判定
		芦田川	山手橋	4	3	
高屋川	白鷺橋		1	4		Ⅲ
芦田川	府中新橋	3	2			Ⅰ
芦田川	大井手頭首工	2	3			Ⅱ

※水質階級 Ⅰきれいな水 Ⅱややきれいな水 Ⅲきたない水 Ⅳとてもきたない水

○芦田川水生生物調査 位置図



川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

I きれいな水

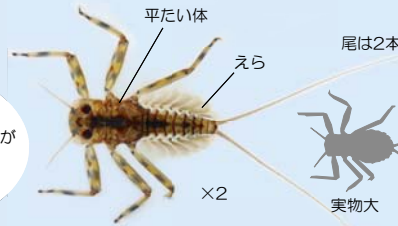
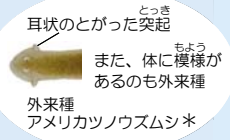


×5

実物大

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



ヒラタカゲロウ類

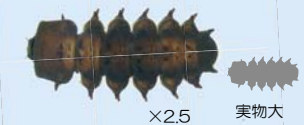
流れの速い石の表面にはりついている



実物大

カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



アミカ類

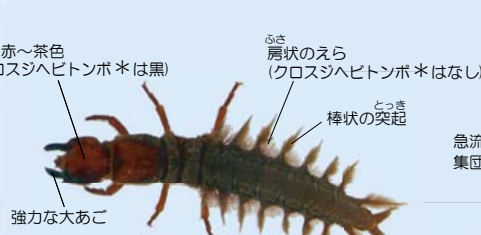
腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



実物大

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、
同じ種類である



ヘビトンボ

実物大

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものおそう



×3

実物大



×3

実物大

ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



実物大

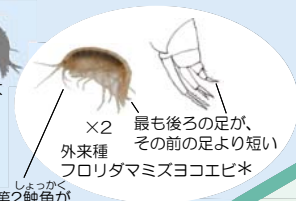
ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



ブユ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



ヨコエビ類

上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

I, II両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

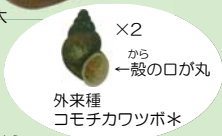
II ややきれいな水



実物大

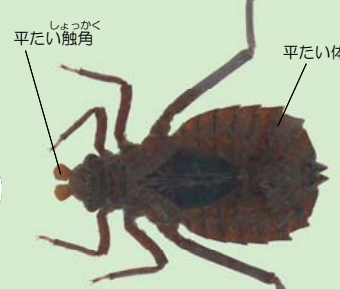
カワナナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツボキは数mmと小型



×0.5

一般の口がひし形



実物大

コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



×2

ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



実物大

ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色



×1.5

ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの
石面にいる



×3

実物大

コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



×2

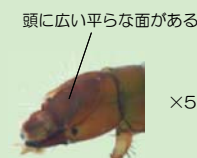
ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワナをえさとする



ゲンジボタル

ヘイケボタル

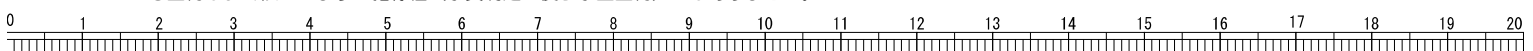


×5

オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



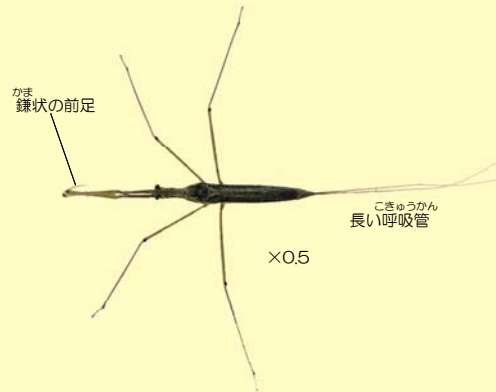
シマイシビル

背中に縦縞模様があるの伸びたり縮んだりする尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある。瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

汽水域(海水が混じているところ)

Ⅱ ややきれいな水



イシマキガイ

石や護岸にはりついている淡水域にいることもある

ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる淡水域にはマジミ*や外来種のタイワンシジミ*がいる

Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいるさわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。